

「令和7年度T e n d oリノベーションプロジェクト」の検討結果について

令和7年度にT e n d oリノベーションプロジェクトとして、3つの行政課題を設定してチームを結成し、本市における課題解決に向けた検討を進めてきたところですが、検討結果の概要を次のとおり報告します。

■ DX・シティプロモーション	
課題の概要	デジタル技術の活用により市民の利便性と本市の認知度を更に高めるとともに、シティプロモーションの手法を研究します。
経過	①DXに関する認識を深めるとともに意見交換を行い、具体的な事業を検討しました。 ②SNSの活用など、本市に求められるプロモーションを検討しました。また、本市の強みを分析し、それらをもとにした事業を検討しました。
検討結果	①様々な場面におけるDXの導入が想定されますが、市民生活に密着した場面における導入が効果的と考えられます。たとえばバスの運行情報がわかれば、待ち時間の目安につながります。さらに、デジタルサイネージを組み合わせることで、より効果を高めることも考えられます。 ②これまでの「子育て世代」や「シニア層」に加えて、食や体験型観光への関心が高い若年層や都市部観光客を新たなターゲット層として設定し、「関係人口の深化」と「ファン基盤の抜本的拡大」を図ることが効果的と考えられます。
今後の方針	具体的な事業実施を目指して、令和8年度も継続してプロジェクトチームにおいて検討を行います。

■ 公共交通の再構築	
課題の概要	高齢社会に対応しながら、多くの市民に利用いただける持続可能な公共交通を研究します。
経過	①市内の公共交通網と予約制乗合タクシーの現状を分析しました。 ②予約制乗合タクシーの利用者の感想を踏まえ、課題を分析しました。

検討結果	<p>①予約制乗合交通は、市内全域で区域乗合型に変更することが望ましいという結果になりました。</p> <p>②今後、予約制乗合交通を補完する公共交通（市街地循環バスなど）の設置を検討することが望ましいという結果になりました。</p>
今後の方針	<p>上記の検討結果について担当課に報告し、結果①について令和8年度の実施につながりました。</p> <p>プロジェクトチームとしては一定の結果が出されたため、今後は担当課において、公共交通のさらなる利便性向上と利用者拡大に向けた検討を継続します。</p>

■ スマートインターチェンジ周辺開発及び田園集落活性化	
課題の概要	スマートインターチェンジの完成を契機とした地域の活性化や、田園集落における人口減少問題の対応策を研究します。
経過	<p>①市内の人口減少の状況を分析しました。</p> <p>②インターチェンジ周辺開発における事例を確認し、視察を行いました。</p>
検討結果	<p>①インター周辺については、魅力的な土地利用が想定されるものの、法律上の規制を踏まえた開発手法を検討する必要があるという結果になりました。</p> <p>②田園集落の活性化については、既に実施している開発許可に関する規制緩和に加え、住宅取得に関する補助金の拡充を検討する必要があるという結果になりました。</p>
今後の方針	<p>上記の検討結果②を担当課に報告し、令和8年度の実施につながりました。</p> <p>プロジェクトチームとしては一定の結果が出されたため、今後は建設部を中心として、スマートインターチェンジ周辺開発と田園集落活性化に向けた検討を継続します。</p>

担当	総務部 市長公室 政策企画係
内線	322